

一般社団法人日本救急救命士会 設立趣意書

救急救命士法が平成3年に制定されて以来、救急救命士を取り巻く環境は大きく変化しました。高齢化による搬送患者数増加に伴う救急医療需要が増大、医師等の業務負担軽減を目的として、令和3年に救急救命士法の改正が行われ、その活動範囲が医療機関内に拡大されました。いま救急救命士に期待される役割が急速に拡大し、変化している現代社会において、これらのニーズに応え、職能向上を促進するために、救急救命士の総意をまとめるために「日本救急救命士会」を設立することに至りました。

設立趣意

1. 高度な救急医療提供のための協力: 日本救急救命士会は、救急医療の質と効率を向上させることを目指します。最新の医療情報をあらゆる機関の会員が協力して情報共有し、救急救命士の知識とスキルの向上をサポートします。
2. 教育と研修の促進: 救急救命士は専門性が求められる職種です。日本救急救命士会は、高品質な教育プログラムと研修を提供し、救急救命士の専門性を向上させ、安全な医療提供を支えます。
3. 職業倫理の向上: 救急救命士の活動に関する倫理基準と最善の実践ガイドラインを策定し、社会に対する信頼性を確保します。
4. 救急救命士業界発展の推進: 専門職として相互の職域を支援し、救急救命士業界全体の発展に貢献します。
5. 公共福祉への貢献: 地域社会や様々な医療従事者と協力し、国民の健康と安全に貢献します。また、あらゆる災害への備えと対応能力の向上に焦点を当て、被害の軽減に努めます。

我々は、救急救命士相互のさらなる連携や活動を通じて国民の健康と安全を守っていきたいと考えています。救急救命士制度から30年以上が経過し、新たな社会のニーズに応えるべく、日本救急救命士会を設立します。

各位におかれましては、日本救急救命士会の趣旨をご理解いただきご参加くださいますよう、心からお願い申し上げます。

令和6年2月吉日

発起人（五十音順）

上尾 善隆	渥美 栄一	飯田 涼太	五十嵐 和哲	石塚 光宣	伊藤 二郎	稲川 暁大
井上 拓訓	植田 広樹	笈川 香織	大木 明日香	大崎 聖敏	大治 広美	大園 雄一
大野 健二	大和田 均	荻野 暁	上久保 敦	川口 暁男	川野 剛	岸 誠司
北辻 耕司	北山 智章	喜熨斗 智也	桐野 郁子	工藤 朝生	黒崎 久訓	黒田 勝美
後藤 奏	齋藤 汐海	齋藤 慈	坂口 英児	坂梨 秀地	佐藤 修	佐藤 成志
澤田 仁	鈴木 俊彦	鈴木 健介	関根 和弘	高橋 司	立岡 伸章	玉村 豊和
千葉 勉	津波古 憲	鶴本 一成	中尾 龍幸	中川 貴仁	中川 洸志	中島 秀明
中島 秀幸	柳木 千代美	西園 与之	花田 邦和	原 貴大	福岡 範恭	古谷 泰樹
堀口 雅司	増茂 誠二	松村 敬則	三上 剛人	水野 恭志	都城 治	村上 龍
森本 伸子	山口 誠	吉田 英明	吉村 優希	若松 淳		